|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | 仮想マシンのスナップショットを管理する |
| 目的（ゴール） | | 仮想マシンの状態を保存・復元・削除できるようにすることで、安定した運用やリカバリを支援する |
| アクター | | 利用者もしくはクラウド管理者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | ユーザーがスナップショットの作成・復元・削除を操作する |
| 事前条件 | | 対象の仮想マシンが正常に動作していること ユーザーに必要な権限があること |
| 事後条件 | | スナップショットの作成、削除、または復元が完了している状態になる |
| 拡張点 | | - 自動スナップショットのスケジューリング - バージョン管理との連携 - ストレージ容量警告機能 |
| 関連ユースケース | |  |
| イベントフロ｜ | メインフロー  （スナップショット作成） | 1. ユーザーが対象仮想マシンを選択し、「スナップショット作成」を選ぶ  2. スナップショット名とメモ（任意）を入力  3. システムが仮想マシンの状態を保存  4. スナップショット一覧に新しい項目として追加される |
| メインフロー  （スナップショットから復元） | 1.ユーザーがスナップショット一覧から復元対象を選択  2.確認後、システムが仮想マシンを選択時の状態に復元  3.復元完了後、仮想マシンがその状態で再起動される |
| メインフロー  （スナップショット削除） | 1.ユーザーが削除したいスナップショットを選択  2.確認後、システムがスナップショットを削除 |
| 代替フロー |  |
| 例外フロー | 1.スナップショット作成時にストレージ容量が不足している場合 → エラー表示  2.復元対象が存在しない、または破損している場合 → 復元不可エラーを表示  3.仮想マシンが停止中で復元できない場合 → 状態確認を促す警告 |
| 備考 | |  |